

1-4  
amano  
note about SR  
soon before  
death  
written in  
america

This is a draft of the same  
materials written in the following  
pages.

寤食を共にしての生活を強めること  
 男 8人 教員 1人  
 女 4人 看護者 4人

→ 洋七カ一 (60人 生徒のみ) 家族は周辺のアパート

5:30 起床 5:50 ~ 6:30 洗濯 6:30 ~ 7:10 洗濯 7:10 ~ 8:00 軽食  
 食事 8:30 ~ 作務 12:15 ~ 12:30 食事  
 夕食 8:30 ~ 9:10 食事 9:30 就寝  
 週に一日(火) 7時 ~ 9時 掃除あり 全舎で100人位

夕サハラ 物衣場 溝敷  
 午後 3 時

叔大教師より大教師に昇格した

11月21日 香山式 1144-1110-1-1 集居者 350人 日本人 450人  
 夕サハラより650人参加

11月21日 桑塔寺にて佛法10名に亘り、宗門菩提のたか心血を以て、  
 確固たるキリを築き上げ、山崎桑塔寺を遷転、兩宗の人共言に、洋清法と生深指導  
 に習念、故郷夕サハラの出境に、海心寺を興し、修行道場を修す所、是に、22日に大菩薩  
 蓮光の法を、55人に、無女で、初心と誓する洋清法と菩提、全業各地に、深道場を  
 南支那、福建、24を、戒名を、存言と、持する、と、この功により、11月21日、叔大教師  
 と、洋清恩正の、菩提を、許す、水た。